

9月8日(土)に、福澤諭吉先生ゆかりの地である大阪中之島で平成24年関西慶應寮和会総会及び第1回定例懇談会が、設立式典に来て頂いた上田・服部・松尾・藤岡OBに加え白石・竹内・宮・中矢・若林・三角・渡邊OBらの新しく参加して頂いた方々や3名の現役寮生をお迎えし、開催されました。

I 平成24年度 関西慶應寮和会総会(24名)

慶應大阪リバーサイドキャンパス(KORC)で、13時半から青嶋義晴幹事(事業担当)の司会で、開催されました。(写真1)

<事業報告>

西村元秀幹事(事業担当補佐)より、平成23年11月11日から平成24年7月31日までの事業について、報告がありました。

<会計報告>

阪本光宏会計担当より平成23年11月11日から、平成24年7月31日までの収支計算書の報告がありました。

引き続き、相本琢郎会計監査より当該収支計算書に関する会計監査報告がありました。(写真3)

以上の報告に対して、異議無く、総会での承認が頂けました。

II 第1回定例懇談会

今回第1回目は、大阪のねじ総合卸業:由良産商(株)の由良社長から、

<由良エアロネットワーク>で関西中小企業が航空機部品産業参入に挑戦

との主題の講話をして頂きました。(写真2)



写真1. 関西慶應寮和会 由良会長からご挨拶



写真2. 由良社長より講話

＜講話内容＞

由良産商(株)は、ねじ数万点と約一万トンの在庫商品を誇るが、日本のモノづくりの不振から、ねじの需要が少なくなっていることに、かねてから危機感を抱いていた。そこで関西の中小企業の優れた技術力で作るネジを使う産業の掘り起こしを行った結果、航空機産業に思い至った。

しかし、航空機業界は米国による規制も多く、戦後7年間の空白を含む、その先進性から、日本企業特に中小企業はなかなか参入できなかったが、国産初のジェット機MRJ(三菱)の製作にあたり、国内随一の大手航空機脚メーカーから<由良エアロネットワーク>に対して全面的な支援を頂けた。

このネットワークは、計16社より成る関西と石川県の中小企業が部品製作を行い、由良産商(株)が材料調達、商品の検査や物流管理を行うものである。今回ネジだけでなく脚部品をキット化しジャストインタイムで納入する態勢を確立し、お客様に対してコスト面で大きなメリットがあると考える。

今年6月には、英国ファンボローで開催されたエアショーに出品し、海外の航空機メーカーに対して、現在販路を開拓中である。

とのお話を頂き、引き続き今年数回に渡りテレビ放映されたく<由良エアロネットワーク>の報道番組を紹介頂きました。また次のお話で、講話のまとめとされました。

今景気が低迷しているが、今こそ平成維新が必要と思ひ福澤諭吉先生の<学問のすすめ>に感動を新たにしたい。若い人は日本を再び経済大国にして欲しいし、ミドルは想いを新たにしたい。

寮和会はそんな語らいの場で有りたい。また時には頭を研ぎ澄まして考える場でも有りたいと切に願う。



写真3.総会出席者の方々と



写真4.福澤諭吉先生 誕生地記念碑

Ⅲ 中之島歴史散策(生誕の碑、適塾など)

定例懇談会終了後、慶應義塾のルーツを巡る中之島歴史散策に、出かけました。最初に慶應大阪リバーサイドキャンパスを出てすぐの堂島川沿いにある、福澤諭吉先生誕生地記念碑を訪れました(写真4)。

次に若き日の福澤諭吉先生が学んだ北浜の適塾に向いました。

適塾は、幕末における洋学研究の第一人者である緒方洪庵により、天保9年(1838年)に設立された蘭学塾で、福澤諭吉や、明治維新をもたらす政治に身をささげた橋本左内、木村益次郎など数多くの日本のリーダーを輩出しました。

福澤諭吉が、適塾で凡そ勉強については、このうえにしようもないほどに勉強したと自ら述懐した程、厳しい勉学の場であったとのことです。(適塾案内書から)

その適塾は、敷地面積約150坪の木造一部2階建の建物であり、現在大阪大学が管理しています。(写真5)

1階の入り口には2室の教室、奥には緒方洪庵先生の自宅、2階は塾生大部屋があります。(写真6)

2階の塾生部屋を見学して気がついた事です、無駄なスペースが全く見当たりませんでした。

例えば、階段は普通の階段の倍ほどの急こう配でステップも高く、まるで岩登りをするかのようです。

このように大部屋と言っても決して広くはない塾生部屋で、数多くの塾生が、明日の日本を造るために、鎬を削って勉学にいそしむ姿が目に見えました。



写真5. 適塾を訪ねて



写真6. 適塾中庭

IV 懇親会(26名)

竹取花御殿 淀屋橋店で、由良会長のご挨拶と
白石英也OBの乾杯で懇親会が開催されました。
新しく参加された会員の方々とも話題の花を咲かすことが
出来、最後は西村幹事のエールと増田会長補佐のご挨拶
で締め、大変楽しいひと時でした。(写真7)

V 記者雑感

由良様から講演して頂きました<由良ネットワーク>の
取り組みからは、普通は考えも及ばないことですが
中小企業のネジ等の部品を、中小企業間のネットワークの
力で一つにまとめ航空機業界に参入したチャレンジ精神を
勉強させていただきました。この新しいビジネスモデルこそ
が日本のモノづくりの今後の進むべき一つの道であり
慶應義塾の<独立自尊>がそこに有ると痛感しました。

また、適塾見学からは、慶應義塾のルーツが適塾に有り、
そこで学ぶ塾生の思いに触れて、我々も個々の立場から、
日本の国を考えて行動しなければならないと感じました。

今回お忙しい中、多くの関西慶應寮和会の会員の方々に
参加頂きますが、このような思いを共有することが出来、
第一回懇談会として大成功だったと思います。

また、なにより日吉からわざわざ来て頂いた現役寮生と
語らいの場を持てたことが一番嬉しいでした。(写真8)

今後関西慶應寮和会を更に大きな輪に広げていきたいと
幹事一同意気込んでいますので、慶應寮和会全員の方々の
益々のご支援を宜しく願います。

VI 次の行事予定(第2回定例懇談会)

三田祭の頃(11月23~25日の1日)納会を兼ねて
楽しい企画を考えていますので、皆様の参加をお待ちして
います。詳細は後日連絡します。 以上



写真7.お待ちかねの懇親会



写真8.現役寮生を囲んで